



## 雪遊び～遊びを通して感じている事～

保育室の窓から外の景色に気が付いて知らせる姿がよくあります。「先生！雪降ってる!!」と目を丸くさせながら喜んでます。また、「雪ある！」とベランダの積雪に気が付いて言う声もありました。

ご家庭で準備して頂いた雪遊びセットに着替えて今日は雪遊びも出来るなと思い、子ども達に「外に出てみる？」と声をかけてみました。雪遊びセットの袋から嬉しそうにウェアを出します。すると、全ての着衣を脱ごうとする子もいました。きっと、夏に着替えた水着のような感覚だったのでしょう。ウェアに手袋にとか何とか身に付け、最後は長靴です。準備完了！さあ、屋上へと到着。

戸外に出ると満面の笑みを浮かべながら、一步一步踏み出しましたよ。



トコトコ歩きながら雪の上の感触や感覚はどんな風感じているのでしょうか？！そのうち「雪だるま作りたい!」「オラフ作りたい!」などつぶやきながら雪に触れ始めました。そこで保育教諭も雪玉を作ってみる事にしました。保育教諭が雪を転がす様子や少しずつ大きくなっていく雪玉を見て「ちょうだい!」「したい!」と言います。「転がしてみる?」と雪玉を譲ると、暫くで崩れました。「あー壊れたあ」と残念そうにしています。その後も、雪玉を作っては子どもに手渡していきました。

持ち上げてみる子、雪を転がしながら「よいしょ」と更に力を入れて進む子、自分で雪玉を作ってみる子、など様々です。雪玉を転がしていく事により、だんだん大きくなり重みも加わる事を感じてか、子ども同士が力を合わせて転がしていく様子もありました。



この雪玉作りを通して、“雪の性質”“雪の重み”などを感じながら『どんな風にしたら雪玉が大きくなっていくのか』と遊びの経験から学んでいたのだらうな、と感じます。

### 保護者のみなさまへ

- ★写真より、子どもが何を感じて何に気付いているのかと想像してみてください。子どものつぶやきが聞こえてきそうです。
- ★この時期のおすすめの遊びや冬ならではの雪遊びなどは是非担任まで教えてください。

### 【お知らせ・お願い】

- ★感染症が流行する季節です。日々のお子さんの検温と体調面を確認し、電子連絡帳への記入を忘れずをお願いします。  
発熱・下痢症状等から回復し、登園する場合は、お子さんが、食欲がある・咳や鼻水が少なくなった・いつも通り睡眠がとれる・顔色が良いなど通常通りの様子であるか確認してください。  
発熱等で欠席し、受診した結果、感染症と診断された場合は園の方にお伝えください。
- ★3歳児（すみれ・さくら組）に進級する際には、昼寝布団のサイズは全員130cm×50cmとなります。準備が出来て早めに切り替えをして頂いても結構です。敷き布団の頭側に名前とワッペンを忘れずに付けてください。
- ★冬ならではの遊びをする際に、登園する長靴を使用します。宜しくお願いします。